

令和7年4月25日  
調布市教育委員会指導室

## 令和6年度学校に行きづらい子どもの保護者の集い報告について

### 1 事業のねらい

学校に行きづらい児童・生徒の保護者の中には、子どもへの接し方などにひとりで悩み孤立する可能性があることから、保護者を対象とした情報提供や情報交換の機会をつくることにより、子どもへの対応のヒントや保護者自身の心のサポートを得られるようにする。

### 2 令和6年度実施内容

各学期に1回開催したほか、土曜日に1回開催し、合計4回実施した。

教育心理の専門家の講演を通じて、保護者が子どもへの対応のヒントや心のサポートを得られるよう支援するとともに、保護者同士の情報交換（グループトーク）を実施し、保護者同士が悩みや不安を話し合える場を提供した。また、様々な相談先や支援の情報提供を行った。

事業の周知方法については、学校安全・安心メール「すぐーる」や調布市公式アカウントのLINEを活用し、より広い周知に努めた。

#### <第1回>

○日時 令和6年5月27日（月）午前10時から正午まで

○場所 調布市教育会館 301研修室

○内容

- ・講演 講師 東京学芸大学教育学部 教授 松尾 直博 先生  
テーマ「学校に行きづらい子どもとの家庭での関わり」
- ・調布市の不登校に関する教育相談のご案内
- ・保護者同士の情報交換（グループトーク）
- ・松尾先生による質疑応答

○参加者数 17人

○アンケート内容抜粋

- ・あらためて子供の現状について、把握することができたのでとても気づきが多かったです。今の段階を見極めながら子供の成長に合わせて、調布市や国のサポートを受けさせて頂きたいと思いました。
- ・昨年5月頃に下の子の不登校がはじまりました。足元は回復期に当たるようです。多様性のある学びの機会が増えると良いなと思います。
- ・原因を探すことは、ひと休みしようと思いました。助かりました。
- ・新たな気づきが多かった。
- ・調布市の施策との関連も参考になった。

- ・私だけではない 皆さん、悩んでいるんだと感じ、成功体験などをきかせていただき、とても、有り難かったです。
- ・同じ境遇の方だったので話しやすかったです。少し気持ち的に楽になりました。

### <第2回>

○日時 令和6年9月7日（土）午後2時から午後4時まで

○場所 調布市教育会館 301研修室

○内容

- ・講演 講師 東京学芸大学教育学部 教授 松尾 直博 先生  
テーマ「学校に行きづらい子どもの居場所と支援」
- ・不登校支援プロジェクトSWITCHの紹介 東京学芸大学大学院生
- ・保護者同士の情報交換（グループトーク）
- ・松尾先生による質疑応答

○参加者数 13人

○アンケート内容抜粋

- ・勉強になりました。親がおしつけるオンラインレッスンなどは本人にとっては居場所ではないのだな（当たり前ですが）と感じながら拝聴しておりました。子は腹痛があって、遠方に行きづらいので、彼の行きやすいところに居場所を提案してあげる必要があるなど気付きました。
- ・居場所の条件がわかって良かった。息子の言葉を思い出しながら、この条件が満たされてないんだな、と客観的に知ることができた。
- ・他の方のリアルなお話を聞いたので今後に役立てたいと思いました。
- ・同じ悩みやもっと深刻な方もいらっしゃり、話しづらい点もあったと思いますが、貴重なお話をうかがうことができ、参考かつ励みとなった。
- ・本講演は数年前から知っていましたが、平日都合が合わず、やっと参加できました。完全な不登校でなく「保護者の集い」とあると何か話さなきゃいけないかと腰が重かった点もありますが、知らなかった居場所の情報もあり、ぜひ多くの方に気軽に参加してほしいと感じました。

### <第3回>

○日時 令和6年11月25日（月）午前10時から正午まで

○場所 調布市教育会館 301研修室

○内容

- ・講演 講師 東京学芸大学教育学部 教授 松尾 直博 先生  
テーマ「子どもたち一人一人に合わせたスモールステップ支援について」
- ・相談から見えてくる子育てのヒントについて 教育支援コーディネーター
- ・保護者同士の情報交換（グループトーク）
- ・松尾先生による質疑応答

○参加者数 12人

○アンケート内容抜粋

- ・「不登校児自体が迷い悩みの中においてどうしたらよいか分からなくなっている」という当たり前だけれど親には見落とされがちなことがよく分かる資料でした。

- ・具体的でわかりやすい講演でした。
- ・スモールステップ、同じところに留まっている状態も、そこで成長をしているというお話が心に響きました。ずっと同じ状態で、変化がないと不安になったり、まわりの評価が気になっていたのが気持ちが楽になりました。
- ・スモールステップ心がけているのですが日々のことだといふ鈍感になって、うっかり多くを望んでしまったりするので、具体的なお話がうかがえて整理できました。ありがとうございます。

#### <第4回>

○日時 令和7年3月11日（火）午前10時から正午まで

○場所 調布市教育会館 301研修室

○内容

- ・講演 講師 東京学芸大学教育学部 教授 松尾 直博 先生  
テーマ「家庭での子どもへのサポート，自己肯定感の高め方」
- ・チーフスクールソーシャルワーカーからの話
- ・保護者同士の情報交換（グループトーク）
- ・松尾先生による質疑応答

○参加者数 19人

○アンケート内容抜粋

- ・自己肯定感が大事だとわかってはいましたが、細やかな感情の積み重ねが大切だったり、技術・能力的な強みではなく性格的な強みに焦点をあてたほうが自己肯定感につながりやすいことがよくわかりました。これが満たされた後に苦手なことに向き合えるようになる、というのも不登校を考えるうえで納得でした。
- ・表面的な言動への対応とは違った、もっとベースの部分でのお話だったのでとても参考になりましたし、どんな場面でも役に立つ内容でした。最近子供の自己効力感が上がっていたのですが、図らずもですが、自己肯定感を高める行動を親として出来ていたことが発見でした。今回も内容をもっと深めて学びたいです。SSWの実体験のお話も参考になりました。子供の本音がどこにあるのか？常に意識したいです。

### 3 令和7年度の実施予定

引き続き、各学期に1回及び土曜日1回の合計4回の開催を予定。

予定日：6月2日（月）・8月30日（土）・11月25日（火）・3月13日（金）